



内閣府副大臣
衆議院議員

あかま二郎

市内19小学校に「エアコン設置」!!

予算確保において“国と相模原市のパイプ役”果たす。

文部科学副大臣へ“直談判”

平成 29 年度補正予算編成にあたって、あかま二郎内閣府副大臣と相模原市の教育部局幹部は文部科学省を訪れ、丹羽文科副大臣へ“直談判”。

相模原市内小中学校普通教室への「空調設備の設置工事」や「校舎の大規模改造工事」等の学校施設整備にあって、どうしても“国の応援”が必要であることを伝えるためだ。

小学校の約6割“エアコン未設置”

横浜市、川崎市、横須賀市など県内10市では、小中学校の普通教室へのエアコン設置は、すでに設置率が100%に達している。

他方、相模原市にあっては中学校へのエアコン設置はすでに完了しているものの、小学校では約6割が“未設置”という現状だ。

相模原市の空調整備状況

	H29年 年度末 設置済数	H29年 年度末 未設置数	進捗率
小学校	27校	45校	37.5%
中学校	37校	0校	100%

小学校の“夏休み短縮”も踏まえ

新学習指導要領にもとづく教育カリキュラムの全面実施は、小学校においては平成32年度となっている。

それに伴い、授業時間の確保のため“夏休みの短縮”も、すでに想定されている。

「エアコン設置」が進まなければ、“蒸し暑い教室”での授業という深刻な状況も生まれかねない。



「未設置の小学校26校も全力！」

今回、文部科学省と調整の結果、相模原市内19の小学校の「エアコン設置」に係る国庫補助が内定した。

「新指導要領の全面実施まであと2年。それまでに全ての小学校にエアコンが設置できるよう、これからも相模原市と連携しながら取り組んで行く」とあかま内閣府副大臣は決意を語る。



弥栄小・弥栄中、大沢中などは 地震補強、トイレ改修

エアコン設置

新磯小	大島小	星が丘小	二本松小
田名小	横山小	淵野辺小	富士見小
上溝小	宮上小	大野台小	根小屋小
清新小	川尻小	作の口小	田名北小
共和小	旭小	大野北小	

トイレ改修

大沢中 田名北小 根小屋小

地震補強／老朽化対策

弥栄中 弥栄小 田名北小

内閣府 クールジャパン戦略担当副大臣

あかま 二郎

クールジャパン戦略で「日本」を売り込め!!

クールジャパンとは、日本のアニメ、観光地、食文化、伝統芸能、さらには地域の特産品など「外国人がクール(カッコいい)と思う日本の魅力」のこと。

情報発信
(日本ブーム)

海外展開
(海外で稼ぐ)

訪日外国人増加
(国内で稼ぐ)

経済成長を実現

すでに訪日外国人数は年間 2800 万人を超え、2020 年の目標数 4000 万人も視野に！“旗振り役”の担当副大臣として、クールジャパン戦略を強力に進めています。



クールジャパン人材育成検討会で挨拶



「アニメ×情報通信技術」の“新ビジネス”を表彰



コンテンツ教育学会 理事長と“雑誌対談”



クールジャパン人材育成の“第一人者”杉山先生と「日本のアニメ」を使って日本酒も海外へ!



気になる
OneShot

「50にして49年の非を知る」

—50回目の誕生日を迎えて—

3月27日をもって50歳。有難いことに、多くの仲間から記念すべき誕生日を盛大に？祝っていただきました。

「もう50？」と感じながらも、「まだ50。」と言い聞かせながら、気持ちだけは若くしようと心掛けています。

とは言え、最近ではめっきり小さな字が見えづらくなってまきましたし、頭にチラチラと“白いもの”も。

明らかに“中高年の仲間入り”で、何となく悲しくなります。

それでも支援者から「二郎さん、何言っているの！50歳なんてまだまだ」などと言われると「もっともっと頑張らねば！」と自分を鼓舞。

そんな中での「節目の50歳」。改めて、自分に「50にして49年の非を知る」という言葉を投げかけています。

その意味は「50にもなると

自分自身を省みなくなって奢りや妥協が生ずるものだが、そうではなく、それまでの人生にはまだまだ直すべきところがあったと自己を律して己をさらに向上させんとすべき」とのこと。

この言葉をしっかりと肝に銘じ、これからも、多くの仲間から指導をいただきながら、政治家として、人として成長してまいります。



手作りのポテトサラダケーキに「フーッ」

忙中閑有 家族のムードメーカー



息子雄二郎(小5)は、家の中では元気にはしゃいでいるのだが、意外と内弁慶な性格だ。

カミさんに「『雄二郎がおとなしくて、少しひかえ目』なのは、俺に似たのだな」と勝手に解釈して見せると、「私だって、小さい頃はおとなしくて、ひかえ目な子供だったわよ」と、“自分似”をお互い譲らない。

他方、長女美優(年中)は、やる事なす事、すべて“破天荒”で怖いもの知らずと言ってもいいくらいだ。

お風呂ではプールのごとく勢い良く飛び込んでみたり、味噌汁に牛乳を入れて飲んでみたり。

ある日には、勝手に包丁を持ち出して野菜を切っている。「ダメだよ、危ないから!」と注意しても「美優だってお料理出来る!!」と聞かないのだ。

さすがにカミさんも「美優は、一体誰に似たんだろう?」と不思議がる事しきりだ。もちろん「イヤイヤ、間違いなく俺じゃなくて君に似たんじゃない」と主張するも、カミさんも「イヤ

イヤ、こんなスゴくなかったから私だって」と。

親も勝手ですね。「ひかえ目」だったら自分似で、そうでなかったら「君じゃない?」「貴方よ」なんですから。

最後に、このままでは美優の名誉に関わりますから申し添えますが、うちの美優は豪快ではありますが、優しく涙もろいところもたくさんあります。

何よりもひょうきん者であかま家のムードメーカーでもあるんですよ。